

会議結果報告書

1	会議名	第2回戸別収集実験事業意見交換会（小出地区）
2	日時	令和7年10月11日（水）14:00～15:00
3	場所	小出地区コミュニティセンター 大会議室
4	出席者	（資源循環課）垣内課長補佐、八幡主任、尾崎主事 （環境事業センター）富田所長、角寄技能労務統括主査 （小出地区）参加人数：9人
5	内容	<p>資料に基づき、第2回戸別収集実験事業意見交換会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 燃やせるごみを出す場所が、家の前であると非常に楽である。現在は戸別収集を試験的に実施しているが、今後も継続してほしい。量が多い時や重い時に助かっている。 ● ステーションに近いところに住んでいるため、あまり変化は感じられないが、同じステーションを利用されている方は車でステーションまでごみ出しをされていたため、楽に感じられているのではないかと思う。 ● 雨が降っている時は、ステーションが近くても家の前に出せばよいので助かっている。 ● 風が強い日は、風の影響を受けない場所に出せば問題が解決した。 ● ステーションにごみ出しをしていた時は、袋から生ごみの水分が漏れてしまっていた時があったが、現在はそのようなことはなく、ステーションは清潔に保たれている。 ● おむつを出すことがあるため、夏場の暑い時期には、臭いがして収集される方が不快な思いをしないように工夫した。 ● ごみ箱を道路際に置いていても、通行人がごみを捨てていくということがないため、安心して置くことができる。 ● カラスが、ポリバケツの蓋を開けてしまうことはあったが、ポリバケツの蓋が飛ばされていることはなかった。 ● ステーションに燃やせるごみを出されるケースは少なくなったと思う。里山公園の来園者に、一度だけステーションにごみを捨てられただけである。 ● 芹沢と堤で使用していたステーションを利用しているのだが、綺麗に保たれているため、非常に嬉しく感じている。しかし、車で地域外の方がごみ出しをすること

などがあるため、ステーションの維持管理ということにおいては、良くなった悪くなったどちらか一方を選ぶことは難しい。

- ステーションを新たに設置することはできないか。県道を渡ってごみ出しをすることは大変である。また、ステーションの利用者分けをもっと融通がきくような方法にすることはできないか。

→ ステーションを新たに設置することは、環境事業センターにご相談いただければ、その課題を解決するための設置場所を共に考えることができる。なお、ステーションの利用者間の調整は、地域の皆さま同士で行なっていただいている。

- 個人的なことを考えれば、戸別収集を継続してほしいと考えているが、戸別収集を実施していった時に、茅ヶ崎市として CO₂ がどのくらい増加するかなどが分からないと判断することはできない。

→ 現時点において、戸別収集を実施した場合の各種データを公表することはできないが、ステーション収集から戸別収集に変更することで、車両台数や収集人数などが必要となることが明らかであるため、その前提の中でご意見をいただきたい。

- 芹沢は道が広いため、街中の狭いところや人通りが多いところと比べると、収集しやすいと思う。街中では、交通事故は発生していないか。

→ 発生していないが、ステーション収集とは疲労度が違うため、注意力が散漫しないように心がけながら、安全に収集業務を行っている。

- 湘南ライフタウンで藤沢市の職員が収集している様子を見ると、各住宅のごみを駆けずり回りながら収集しているため、本格的に戸別収集をやるとなると大変なことであると思う。

- ごみ収集時間は、朝 8 時 30 分以降であると思うが、変更することはできないか。

→ 始業後、問題なく出発することができれば、収集開始の時間が 8 時 30 分である。出発を遅くすれば、全体の収集時間が遅くなるため、収集時間を変更することは難しい。

以上